さてSEXといえば
「初夜」であります

何がだ

今回は初夜について
話しましょう

しかしこのコトバ
口にすると
なかなか恥ずかしい

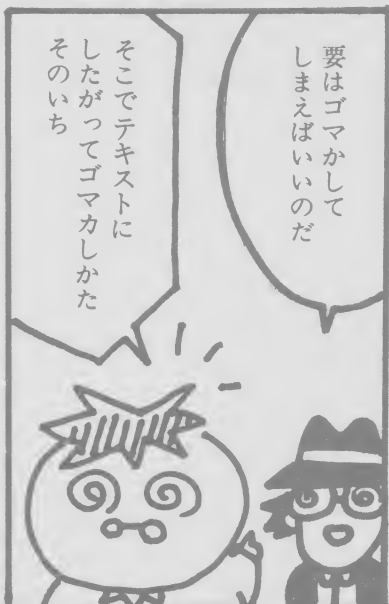
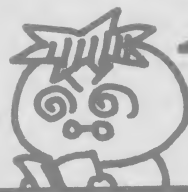
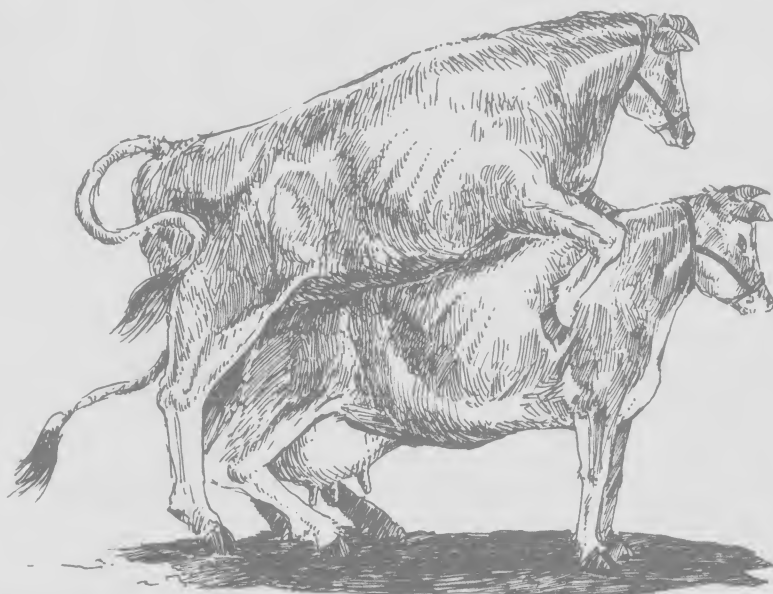
参考書籍は昭和二十七年
睦書房発行の「人情講談」
十月号付録

人情講談11月号
開けてビックリ
男女の交渉虎の巻満載

『閨房愛戯宝典第一部
花嫁歓泣・初夜の体位と
閨房術』……である

…すごい
タイトルです
ねぇこれ

…さて夫との「初夜」を迎えるにあたり一番の問題があるとすればなにか、というとあなたにとってそれが「初夜」でない場合であります

この本にも「自由主義的な論法でなくても結婚に処女が要求されるなんてオヨソ馬鹿げた話であるが現実には横暴な男性は必ず処女を結婚の必須条件とする」
——とある

# 牛の真似をして処女を装う

乳牛をカケるとき(注・交尾させること)、助平な
雇い男に牛のツガるのを(注・ファックすること)
見せられてツイ気ざし(注・ムラムラとソノ気になり)

牛小屋の隅で十二、三回ほど関係したのでした

十二、三回も
やっといてツイも
ねえだろが

ともかくそれから半年後
「…絶対に処女であること」
を条件に仲人を介して
良家の一人息子から
縁談のあった浅子さん、

それで、初夜を迎えるに
あたってどうしたものかと
色々考え、思いついたのが
この方法なのである

ねえもういい
だろう
いやよ
恥ずかしいわ

いいじゃないか
僕らはもう
夫婦なんだから
でもォ

さあ
早く帯を
解いて〳〵
はい…

さあどうぞ
うわあ

ナ、ナ、ナ、何だその格好はッ
初夜でいきなり後ろからとは
そんなミダラな体位を知って
いるなんてキミは処女じゃ
ないのだなっ

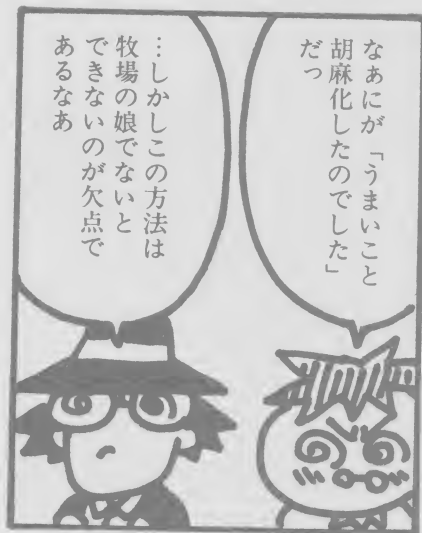
ええっでも牧場の牛
たちはみんなこうして
いますわ、人間は違う
んですの？
牛？

あゝそうか、
お前は牛を飼って
いたので
は、アなァる程
牛のしか見たこと
がないから

これで良人はすっかり信用して
丁寧に私に人間の方法を教えて
くれたのです
あら、そうでしたの
私、ちっとも知ら
なかった。御免
なさいね
でへへへへ
こう云ってうまいこと胡麻化した
のでした

なぁにが「うまいこと
胡麻化したのでした」
だっ
…しかしこの方法は
牧場の娘でないと
できないのが欠点で
あるなあ

〔以下次号〕

1992年（平成四年）6月1日（月）発行

# こいつは春から縁起が悪いわい!?
# 蛭子能収に愛人発覚？

通巻第15號
編集人……………杉作J太郎
発行；〒101
東京都千代田区神田神保町1－62
㈱青林堂内
ギャンブル新聞社

## 蛭子能収のニューシゴキ道場15

――蛭子さん、この春からテレビのレギュラーはドーッと増えたし、競艇場のミニFMの仕事は相変わらず順調だし、もう儲かってしようがないですね。

**蛭子**　そんなことないですよォ。

――だって、丸がおでポッチャリした愛人がいるそうじゃないですか。見ましたよ。『テレビジョッキー』の、本物は誰だ？

**蛭子**　あれは適当に言ってくれ、って言うから言っただけですよ（苦笑）。

――安心しました。でも、競艇の仕事って、いくらぐらいになるんですか？

**蛭子**　この間、びわ湖に行ったときは、一日で15万円でしたよ。もちろんコミコミ、コミコミですけどね。あ、コミコミいうんは交通費・宿泊費込みで、ということなんですよ。だから全額ギャラというわけではないんですよね。そう、コミコミ。コミコミなんですよ。コミコミコミコミコミコミ……とかなんとか言うてからが（笑）。

――でもス、スゴイ！　やっぱり相当儲かりますねえ。

**蛭子**　いえ、毎回言うようですけど、儲からないですよ。全部使うてしまいますから。

――使う？

**蛭子**　そうなんですよ。この間のびわ湖のときも、家を出掛けるときには……（この辺りから自宅からの電話のため小声になる。そうか、奥さんに聞かれたらマズイ話が始まるのだ！）……13万円持っとったんですよ。ギャラは帰りにくれるんですよ。だから、競艇したかったら、まずは自分のお金を持って行って、それを使わなきゃいけんのですよ。

――なるほど。すると、もしも自前の13万円全部負けても、帰りには宿泊費ひいても13万円は持って帰えるというわけですね。

**蛭子**　そうなんですよ。ところが、その日は行った日に15万円貰うてしもたんですよね。貰うまでに5万円負けてましてね、そこへ15万円貰うたから、えーと……とにかくですね、貰うた分も使うてしもてですね……（さらに小声になる）……帰ってきたら2万円しか持っとらんかったんですよ。家を出るときには13万円も持っとったのに……。

――仕事に行ったんだかなんだか判んないじゃないですか。

**蛭子**　もうね……なんでこんなバカみたいなことやっとんのか、帰りの新幹線の中でわけが判んなくなりました……。

＊

**奥さん！　蛭子さん、湯水のようにお金使ってます！　これではまるで、ザルで水をすくっているようなもの！　注意が必要です。**

## ギャンブル映画評

## 『資金源強奪』（1975年度東映京都）

**主演／北大路欣也　監督／深作欣二**

劇中、ノミ屋の役で特別出演する山城新伍さんと曽根晴美さん。この曽根さん、特別出演するだけあって、相当の競艇マニアだとか。今回は、ある筋から入手したそのエピソードを紹介しよう。

曽根さんのお子さんが幼稚園だか小学校だかに入学したときの親子面談の席上。先生が「お父さんのお仕事は？」と尋ねたところ、お子さんは、迷うことなく、こう答えた。

「競艇！」

曽根晴美さんと言えば、往年のギャング映画や『仁義なき戦い』『総長賭博』などでならした苦みばしった二枚目スター。特撮ファンには『変身忍者嵐』のドクロ丸でも御馴染みだ。

そんな曽根さんの仕事を『競艇』と、お子さんに認識されるぐらいだからおそらく撮影所に行ってんだか競艇場に行ってんだか判らないほどの日常であったことが推察できる。だが、このエピソード。単なる競艇マニアの親父がいましたとさ……と言うには、あまりにもイカシすぎてる。

そう、そこには、スター然としていないフランクな二枚目スター・曽根晴美のそこはかとない魅力が感じられるではないか。私はこの話を聞いて、マスマス曽根さんのファンになりました。

### ギャンブル市況

| パチスロ | （杉作J） |
| --- | --- |
| （1勝のみ） | △11,000 |
| 今時まさかセンチュリー21でビッグボーナス4連チャンレギュラー5回とは！ | |
| ハネモノ | （杉作J） |
| （0勝1敗） | △2，000 |
| 今月は、物凄い風邪をひいてしまい、パチンコ屋に2回しか行けなかった。パチンコも風邪には勝てん。 | |
| デジパチ | （杉作J） |
| （ドロー1回） | ±0 |
| ニューギンの競馬ものに挑戦。連複の馬券の通りに馬がゴールすれば大当たり、という複雑怪奇なデジパチ。 | |

■デジパチ　▼20、600（白取／ガロ）
■ハネモノ　△6、500（白取／ガロ）
※最近の台ってホント、わかりましぇんわ。

**＊ちょっと長めの編集後記＊**

今月は、モロに風邪をひいてしまった。さらにその風邪が、同じく風邪をひいていた竹熊健太郎さんの風邪とミックスしてしまい、なんと10日間もダウンしてしまった。そのせいで仕事の進行もメロメロになってしまい、結局、二回しかパチンコ屋に行けなかった。

おかげで、パチンコ以外にこれという趣味もないため、お金も減らずに一見バンバンザイだが、この薄気味の悪い日常感はなんだ？ケツのむずがゆさはなんだ？　そーです！便所の後にケツをふかなかったのです（なんてわけないだろう）。

そう、ギャンブルでお金を浪費しなかったことによる違和感なのである。

いや、本当にギャンブルでこれほどお金を使わなかったのは、何年振りかだが、使わなかった今月、ハッキリと自覚した。

パチンコや競馬で『金、金、金』と、狂ったように言っていた日々よりも、きちんきちんと仕事をしただけの今月のほうが、より守銭奴に近い、ということが。

いや、これはあくまでも私個人のことである。ギャンブルに手を出さない人のことを守銭奴と言っているのではないので誤解しないように。

多分、私は、もともとが守銭奴なのである。もちろん、そんなことを自覚したことはなかったし、そんな自分でありたくはない。さらに、そうならないために、私は中学生の頃から心身ともに鍛錬を重ねてきたつもりだ。

が、きっとどこかにそうした要素があるのだろう。あったのだろう。

それを私は、パチンコやパチスロや競馬でお金を浪費することにより、「ゼニの亡者ではない！」と、説得させていたのだと思う。

今月。私はまるでゼニの亡者のようだった。風邪のためとは言え、生活に必要なものしか買わずに三軒茶屋の商店街を通り過ぎたあの夕方。喫茶店の窓からパチスロマニアのオッサンたちがいつものように、あーでもない、こーでもない、と、話し込んでいるのを見たとき……私は、自分を裏切り者として認識した。この気持ち、判る人は判ってくれるはずだ。

正直、何か月前から、迷いはあった。が、もう私は迷わない。

生涯、ギャンブルは捨てん！